

(参考様式2) 社会資本総合整備計画 (防災・安全交付金)

平成29年2月20日

計画の名称	38 指宿市役所周辺 安全・快適で安心して暮らせるまちの創出 (防災・安全)	重点配分対象の該当	○
計画の期間	平成28年度 ~ 平成31年度 (4年間)	交付対象	指宿市
計画の目標			

土地区画整理事業の手法により、安全・快適な歩行空間を確保した市役所を中心とした新たな生活拠点の整備を行い、安心して暮らせる都市を目指す。
 浸水地域の面的嵩上げを行い、防災性を向上させる。
 二月田駅前広場と駅前周辺のバリアフリー化を目指す。

計画の成果目標 (定量的指標)

- ・地域防災計画で浸水地域に指定されている地域の防災対策目標として、浸水リスクを解消した宅地の割合を21% (H28)から54% (H31)へ拡大。
- ・車椅子利用者の移動における安全確保と利便性向上を実現する成果目標として、車椅子利用者が移動する際に障害となる箇所へのバリアフリー対策実施率向上。

定量的指標の定義及び算定式

施行地区内において浸水リスクを解消した宅地の割合を算出する。
 (浸水リスクを解消した宅地面積の割合) = 浸水リスクを解消した宅地面積 (評価時) / 宅地面積 (施行後) (%)

(車椅子利用者が移動する際に障害となる箇所のバリアフリー対策実施率向上) = (施行地区内の都市計画道路において段差を解消した箇所) ÷ (バリアフリー新法施行後に整備をしている市内の都市計画道路において車椅子利用者の移動の障害となる段差のある箇所) (%)

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値 (H28当初)	中間目標値 (H30末)	最終目標値 (H31末)	
	21%	35%	54%	
	13%	28%	43%	

全体事業費	合計 (A+B+C+D)	529百万円	A	529百万円	B	-	C	-	D	-	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	%
-------	-----------------	--------	---	--------	---	---	---	---	---	---	-----------------------------	---

交付対象事業

A1 道路事業																			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
											H28	H29	H30	H31	H32				
A1-1	街路	一般	指宿市	直接	指宿市	区画	改築	十町地区 ((都) 弥次ヶ湯通線外)	区画整理 A=32.9ha	指宿市						529	1.79	-	
																		-	
小計 (道路事業)														529		-			

C 効果促進事業 (該当なし)																			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考			
										H28	H29	H30	H31	H32					
小計																			

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
----	----------------------	----

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業 (該当なし)																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考		
									H28	H29	H30	H31	H32				
合計																	
番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考															

(参考様式2) 社会資本総合整備計画 (防災・安全交付金)

平成29年2月20日

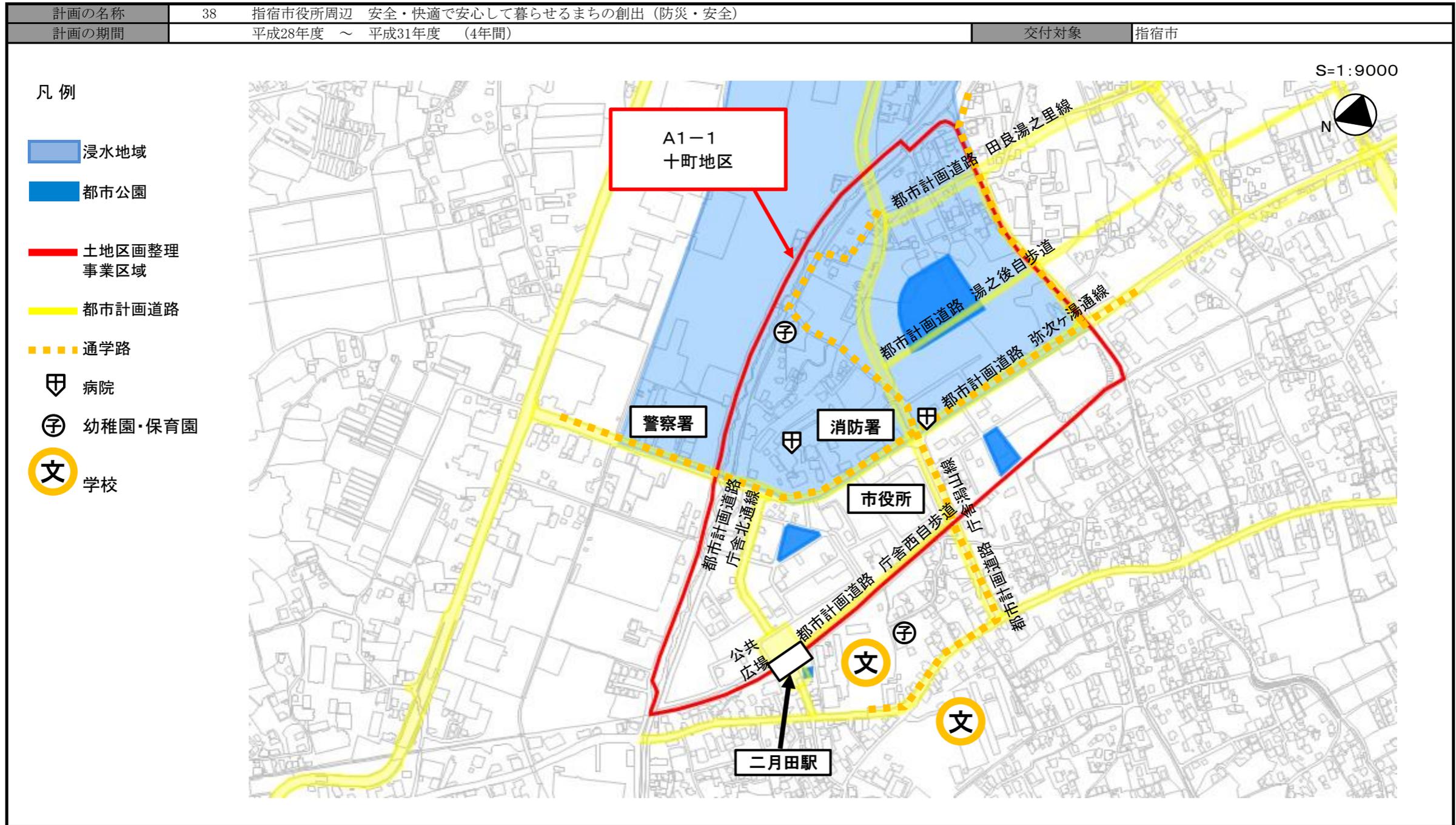
計画の名称	38 指宿市役所周辺 安全・快適で安心して暮らせるまちの創出 (防災・安全)	重点配分対象の該当	○
計画の期間	平成28年度 ~ 平成31年度 (4年間)	交付対象	指宿市
計画の目標	土地区画整理事業の手法により、安全・快適な歩行空間を確保した市役所を中心とした新たな生活拠点の整備を行い、安心して暮らせる都市を目指す。 浸水地域の面的嵩上げを行い、防災性を向上させる。 二月田駅前広場と駅前周辺のバリアフリー化を目指す。		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H28	H29	H30	H31	H32
配分額 (a)	117.015	148.692			
計画別流用 増△減額 (b)	0.000	0.000			
交付額 (c=a+b)	117.015	148.692			
前年度からの繰越額 (d)	18.357	91.467			
支払済額 (e)	43.905	117.128			
翌年度繰越額 (f)	91.467	123.031			
うち未契約繰越額 (g)	70.152	85.563			
不用額 (h = c+d-e-f)	0.000	0.000			
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))	51.8%	35.6%			
未契約繰越+不用率が10%を超えている場合その理由	工事予定箇所にある補償物件の交渉が難航したため	補償交渉において不測の日数を要したため			

(参考図面) 防災・安全交付金



社会資本整備総合交付金チェックシート

(社会資本整備総合事業)

計画の名称: 指宿市役所周辺 安全・快適で安心して暮らせるまちの創出(防災・安全) 事業主体名: 指宿市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①計画が上位計画等と適合している。	<input type="radio"/>
②地域の課題を的確に踏まえた目標となっている。	<input type="radio"/>
③数値目標や指標を用いるなど、客観的かつ具体的な目標となっている。	<input type="radio"/>
II. 計画の効果・効率性	
④目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	<input type="radio"/>
⑤指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	<input type="radio"/>
⑥指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	<input type="radio"/>
⑦十分な事業効果が見込める。	<input type="radio"/>
III. 計画の実現可能性	
⑧計画の具体性など、事業の熟度が高い。	<input type="radio"/>
⑨地域の協力が見込める。	<input type="radio"/>